

令和元年

8月

1日号

No.191



議会だより

おおたわら市 “題字は高野礼子議長”



第4回大田原市議会 議会報告会

《 特集 》

第4回議会報告会開催

大田原市議会では7月3日、4日、10日に、新庁舎7階議会フロアにおいて、議会基本条例に基づき議会報告会を開催いたしました。この報告会では、新しい議場の案内や各常任委員会の意見交換会を行いました。

意見交換会では、参加者から議会や市政に対する貴重なご意見・ご要望等をいただきました。これらのご意見等は、全議員が今後の議会活動において議論や政策提言に反映させてまいります。



議場内の様子

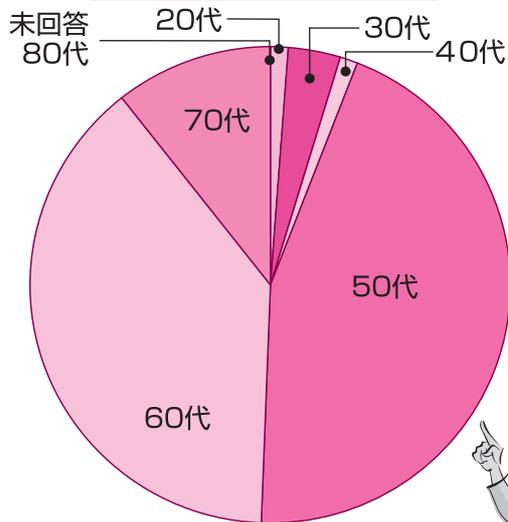
内 容

- 第1部 議会フロア案内
- 第2部 意見交換会

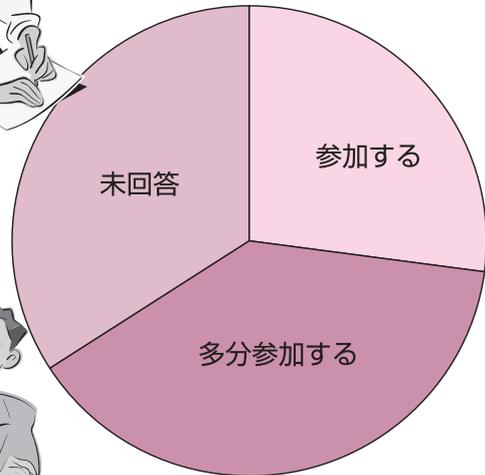
班 構 成			開催日	参加者数
班長 小池利雄	第1部	高木雄大、弓座秀之、星雅人、藤田紀夫、千保一夫、前田雄一郎	7月3日 10:00～	15人
	第2部	民生常任委員会		
班長 菊池久光	第1部	小池利雄、高崎和夫、秋山幸子、滝田一郎、本澤節子、小野寺尚武	7月3日 15:00～	22人
	第2部	総務常任委員会		
班長 高木雄大	第1部	高瀬重嗣、櫻井潤一郎、大豆生田春美、前野良三、引地達雄、小林正勝	7月4日 14:30～	26人
	第2部	文教常任委員会		
班長 高瀬重嗣	第1部	菊池久光、黒澤昭治、印南典子、鈴木央、中川雅之	7月10日 14:00～	22人
	第2部	建設産業常任委員会		
合 計				85人

議会報告会アンケートの集計結果をお知らせします。(回答率85.8%)

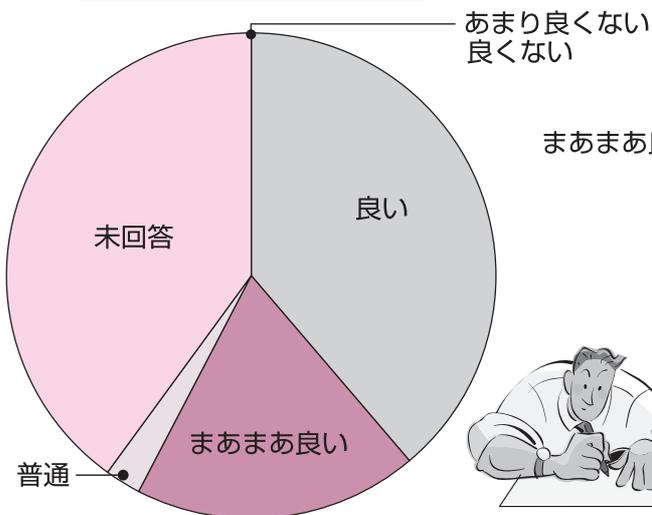
参加者の年齢



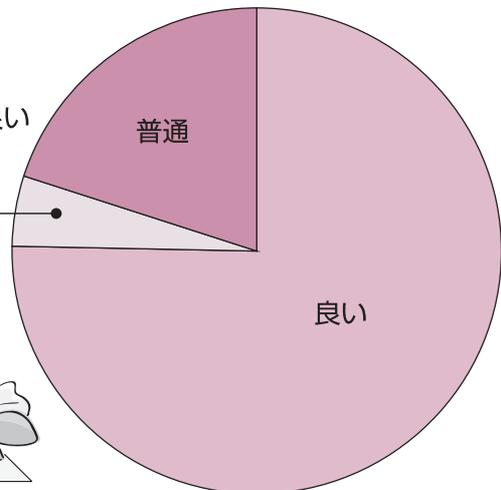
次回への参加意欲



感想



開催日時の意見



7/3 車座による意見交換会の様子(全員協議会室にて)

議会報告会に対する意見や要望

アンケートで出された意見等を一部抜粋

アットホームな雰囲気では有意義なお話ができたと感じます。

各地区でこのような報告会を開いていただきたい。一人ひとりの市民の声を聞いていただける報告会は今後も続けてほしい。

個別のテーマ、地区別の意見交換の場を充実させ、現場の意見を市政に反映させて欲しいです。

報告会は雲の上の存在でしたが、議員の方と意見交換ができてよかったですと思います。

直接会って意見交換することで、議員の思いや状況を感じ取れたこと。他の方が地域をどう思っているのか聞いて良かったと感じました。

意見交換の時間はやはりもう少し多いほうが良い。市議個人の意見は出来る限り避け、議会を代表しての意見を述べてほしい。ボタン採決の体験は良かった。

学校の現状や課題を話し合うことができ、とても有意義であった。

大変リラックスして本音を出し合えたので、一市民としてもありがたく思いました。



(7/10の意見交換会の様子)



(7/3の意見交換会の様子)

議員の皆様が大変身近に感じました。これからもぜひ意見交換の機会に参加したいと思います。

思ったより少なく、もっと多くの方が参加しやすい工夫が必要だと思いました。(たった19人でした) 今度は議会を見に来たいと思いました。

いろいろと問題のある意見が出ましたが、議会の方でよろしくお願いします。(今回の意見を活かしてください) 住みよい大田原市にしてください。お願いいたします。

一般市民が参加の意見交換の雰囲気ではない。報告会ではないのでは、今回は今までのやり方ではないのでは。

このような会が、まめに行われて、たくさんの市民が参加でき、意見を言えたらよいと思います。

必ず前向きな回答が欲しいと思います。たくさんの方々に参加して頂きたいです。子ども食堂の現状を再調査して頂きたいです。びっくりしました。

説明をはっきり、ゆっくり、わかりやすく話してください。地域の活動も大切だと思った。地域と議員さんのつながりも必要だと思った。

(アンケートは原文のまま掲載しております。)

森林環境譲与税 基金条例制定

令和元年第3回市議会定例会は、去る6月17日から27日までの11日間を会期として開かれました。

本定例会に市長から提出された案件は、継続費繰越計算報告・繰越明許費繰越計算報告・一般財団法人大田原市管理公社ほか4法人の経営状況などの報告案件7件、専決事項の承認案件5件、人事や条例改正などの案件9件、議会からは、議員案1件が提出されました。

主な議案としては、大田原市森林環境譲与税基金条例の制定や一般会計補正予算（第

1号）などがありました。

森林環境譲与税の創設に伴い、当該譲与税を基金として積み立て、適正に管理し、定められた使途に充てるため条例を制定するものです。

また、一般会計補正予算（第1号）は、森林環境譲与税の創設に伴う地方譲与税や国庫支出金の内示に伴う「緊急風しん抗体検査等事業費補助金」、「プレミアム付商品券事業費補助金」等の経費、及び当初予算成立後の諸事情に対する経費について補正を講じたものです。

議案は全て原案通り可決されました。議案の詳細については下記をご覧ください。一般質問は、3日間で14人の議員が質問を行いました。詳細については、次のページ以降をご覧ください。

令和元年 第3回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議 案 件 名	結 果
報告第2号	市長の専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	報告受理
報告第3号	市長の専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	報告受理
報告第4号	市長の専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	報告受理
報告第5号	市長の専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	報告受理
報告第6号	平成30年度大田原市継続費繰越計算報告について	報告受理
報告第7号	平成30年度大田原市繰越明許費繰越計算報告について	報告受理
報告第8号	一般財団法人大田原市管理公社ほか4法人の経営状況について	報告受理
議案第40号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて （平成30年度大田原市一般会計補正予算（第5号））	原案可決 （賛成多数）
議案第41号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて （大田原市税条例等の一部を改正する条例の制定について）	原案可決 （全会一致）
議案第42号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて （大田原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）	原案可決 （全会一致）
議案第43号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて （大田原市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について）	原案可決 （全会一致）
議案第44号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて （大田原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	原案可決 （全会一致）

議案番号	議 案 件 名	結 果
議案第45号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（鈴木美知子氏）	原案可決 (全会一致)
議案第46号	大田原市森林環境譲与税基金条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第47号	大田原市情報公開条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第48号	大田原市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第49号	大田原市下水道条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
議案第50号	大田原市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
議案第51号	令和元年度大田原市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 (賛成多数)
議案第52号	令和元年度大田原市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第1号）	原案可決 (賛成多数)
議案第53号	令和元年度大田原市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決 (賛成多数)
議員案報告 第 1 号	特別委員会の報告について（大田原市議会活性化特別委員会）	報告受理

令和元年 第3回市議会定例会における表決状況一欄

議 案	秋山幸子	印南典子	星 雅人	鈴木 央	滝田 一郎	弓座 秀之	櫻井潤一郎	高木 雄大	高瀬 重嗣	菊池 久光	深澤 賢市	中川 雅之	大豆生田春美	小池 利雄	藤田 紀夫	君島 孝明	前野 良三	高野 礼子	黒澤 昭治	引地 達雄	本澤 節子	小野寺尚武	千保 一夫	高崎 和夫	小林 正勝	前田 雄一郎	
議案第40号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第51号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※高野礼子議長は採決に原則加わりません

一般質問 市政を問う

一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。

(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、それを掲載しています。なお、原稿提出があった方のみ掲載しております。)

質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	菊池 久光	①ネーミングライツ（命名権）の導入について ②農地付き空き家について	8	本澤 節子	①教育問題について ②ワクチン接種について ③高齢者対策について ④農・林業振興について ⑤焼却場問題について ⑥市民の声
2	星 雅人	①SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みについて ②情報保障について	9	印南 典子	①大田原市のこれからの地域福祉について ②「地域主導のまちづくり」の中心を担う公民館運営及び事業について ③新しい時代に向けた学校における働き方の改革及び改善計画について ④高齢者等外出支援事業について
3	高瀬 重嗣	①生涯学習都市宣言について ②市に協力をいただいている自治会等各種団体グループの役割について ③小中学校の統廃合後の歴史・文化の継承について	10	秋山 幸子	①本市の児童・生徒の不登校対策について ②高齢者運転免許証自主返納推進事業の拡充について ③非核平和都市宣言を掲げた本市の取り組みについて
4	前野 良三	①住宅等の解体に対する助成について ②働き方改革について ③公共交通の運行について	11	鈴木 央	①災害サポート登録制度について ②私学（中高一貫校）誘致について
5	滝田 一郎	①都市計画道路について ②市有林の皆伐及び森林公園の再整備について ③那須野が原ハーモニーホールの北側玄関の再整備などの施設整備について ④ダムの緊急放流対策及び新たなガイドラインに基づく災害時避難について	12	中川 雅之	①交通安全対策について ②小中学校の省エネルギー対策について ③幼保教育・保育の無償化について
6	大豆生田春美	①不育症患者への支援について ②イングリッシュチャレンジデーの開催について ③自転車の安全利用と保険加入の促進を求める取り組みについて	13	小野寺尚武	①財政運営（計画）について ②会計年度任用職員制度について ③全国の専門家から注目の「日本考古学発祥の地」の侍塚古墳の活用について
7	櫻井潤一郎	①菜の花プロジェクト事業について ②農用地の保全について ③サイクルツーリズム事業について	14	千保 一夫	①市長の政治姿勢について ②教育行政について

※太字が掲載されている項目

情報保障について



星 雅人 議員

一般質問



菊池 久光 議員

ネーミングライツ
(命名権)の導入に
ついて

質問…ネーミングライツ(命名権)に対する本市の見解と評価について伺いたい。

答弁…ネーミングライツは、公共施設等に名称を付与する権利等を与えることであり、この権利を販売することで、市は収入を得て施設の維持管理費等に充てることが出来ます。権利を取得した企業等は、施設に自社の名称等を命名することで宣伝効

果が期待でき、行政・購入者両方にメリットがあり、制度導入は行政にとつては、施設の維持管理費と資金調達の一つの方法であると考えます。一方、なれ

親しんだ施設の名称と愛称が異なり混乱を来す等の懸念もあり、制度設計の際にはこうした課題の解決が必要だと考えます。
質問…本市の公共施設等へのネーミングライツ(命名権)の導

入について伺いたい。

答弁…本市では、美原公園第2球場を真中満記念球場、黒羽中学校屋内プールを清水咲子記念プールとして施設の愛称を設け、市民に親しまれておりますが、そのほかにも市内にはスポーツ施設や文化施設等があることから、県内の先進事例を参考にし、ネーミングライツについて調査研究を進めてまいります。

質問…市が主催する行事への手話通訳、要約筆記の導入について市の考えを伺います。

答弁…聴覚に障害を抱えた方々への情報保障は、手話通訳、要約筆記等の手法があり、本市においては障害者総合支援法に規定されている地域生活支援事業として意思疎通支援事業を実施しています。利用実態としては、個人からの派遣要請が大半です

が、実行委員会主催の那須地区障害者スポーツレクリエーション大会や大田原市福祉ふれあいまつりなどに手話通訳者の派遣

を依頼しています。さらに市の健康セミナーにおいても、要約筆記者と手話通訳者の派遣も実施しています。また県は、令和4年、2022年に開催される国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会いわゆるいちご一会

とちぎ国体ですが、その開催に向けて手話通訳者等の増員を図っているところです。

今後は、聴覚に障害を抱えた方々に対し、今まで以上に積極的な利用を周知するとともに、市の主催する事業を所管する担当課に対しても、本事業の積極的な活用を庁内イントラネットなどを通じて周知し、本事業の認知、拡大を図ってまいります。

一般質問

公共交通の運行について



前野 良三 議員

市に協力をいただきたい自治会等各種団体グループの役割について



高瀬 重嗣 議員

質問…市営バス運行経路の拡大について

答弁…都市計画道路3・3・2号開通後の中央公園経由の市営バスにつきましては、平成30年6月議会で小野寺尚武議員の質問に開通後の人や交通の流れを見極めたうえで、バス停の位置や運行する路線を通じた際の全体的な経路を検討するとお答えしております。その後、地元か

らの要望もあり、今回の質問で提案されているように中心市街地にお住いの方々のお出掛けの足として、また、中心市街地へお越しいただく交通手段として必要と考えておりますので、現在運行に向けて検討を進めているところですが、バス停設置の専用手続きや時刻修正に準備等がございまして、また地域公共交通会議での審議や周知

期間を設ける必要がございますので、運行開始時期につきましては、もう少しお時間をいただくこととなりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

質問…自治会の加入率は他の市町と比べどのような状況か。

答弁…県内で加入率が一番高いのは87・17%の足利市、1番低いのは49・93%の高根沢町で、県内平均は70・05%、本市は66・00%で、平均以下の状況だ。

をとりながら、地域住民の生活上や地域の発展、環境の美化など、個々の団体の目的にに応じて活動するとともに、相互に協力することによりさらに地域の活性化や課題解決に結びつくことが望ましい。特に自治会は、地域の小団体と積極的に連携を図り、横の結びつきを強化することで、地域の活性化のみならず災害などの非常時に極めて大

きな力を発揮するものと期待をしている。自治会に加入するところが特段の負担にならない、むしろ大きなメリットがあると思える機構改革を検証し、より価値の高い自治会組織というものをつくっていくよう意見を交わしていければと思っている。

質問…女性の自治会長は何名か。

答弁…170自治会中4名である。

一般質問

ダムの緊急放流対策及び
新たなガイドラインに基
づく災害時避難について



滝田 一郎 議員

質問…本年3月には市内の4河川ごとに防災ハザードマップが改訂されました。一方で、水害の防災情報の伝え方が今月から具体的に変わります。ダムの放流への対策及び地域住民への広報について伺います。

答弁…防災情報伝達システムを今年度より2カ年間で市内全域に整備をする計画であります。このシステムが整備されますと、

災害時には屋外スピーカーからの放送に加えまして、携帯電話等へメールの配信等を行います。

質問…本年度出水期までに実施する避難ガイドラインに基づく災害時避難について伺います。

答弁…確実に避難が開始できるような情報を全てレベル化し5段階で表示され、各レベルで住民がとるべき行動は、レベル3では高齢者等は避難を開始、レベ

ル4では全員避難、レベル5では、命を守る行動となっております。

質問…2019年洪水ハザードマップにおける家屋等倒壊のおそれのある区域の方への対応について伺います。

答弁…4河川流域で約580世帯が対象でいちメールやSNS活用で避難情報を伝達します。



大豆生田 春美 議員

自転車の安全利用と
保険加入の促進を求
める取り組みについて

質問…自転車条例制定に向け、進捗状況を伺います。

答弁…現在条例の制定に向けて、他自治体の先行事例などを調査研究し、本市における条例の内容を検討している所であり、本年度中に条例制定を目指しています。尚、自転車損害賠償保険の加入につきましては、金銭的な負担を伴うものであるため、努力義務として制定する考えで

す。

質問…保険加入に対してニーズ調査を行ってみてはどうですか。

答弁…基本的に安価なもので年間2000円もかからないで入れるものがたくさんあります。そういったことを考えますと、ニーズというよりはこういったたくさん保険があり、今現在高額な賠償、1億円近く自転車事故によって賠償請求されてい

るような事例、判例などもありますので、そういったリスク管理を積極的に条例制定と共に市民の皆様にも周知させていただいて、ニーズ調査をするよりも先に保険に入ってもらおうというふうな方向でPRをしていきたいと考えています。

農用地の保全について



櫻井 潤一郎 議員

一般質問



本澤 節子 議員

焼却場問題について

質問…取組みについて伺います。

答弁…平成26年度から多面的機能支払い交付金事業があり、今年度は51団体が5740haの維持管理活動を行っています。

質問…遊休農地・耕作放棄地の推移と防止対策について伺います。

答弁…耕作放棄地の推移は、2015年農林業センサスによると、大田原地区が69・9ha、湯

津上地区が21・1ha、黒羽地区

が112・5ha、合計203・

5haとなっております、その5年前

の2010年が全体で149・

5haでしたので、面積で54ha、

率で136%に増加しています。

防止対策については、農地パト

ロールの結果により、遊休農地

及び遊休化のおそれのある農地

の所有者等に対して、利用意向

調査を実施し、農地中間管理機構への貸し付けなど、農地のあつせんを推進し、今後もさらなる強化を図っていききたいと考えています。さらに、中山間地域等直接支払い交付金事業や多面的機能支払い交付金事業の中間検査及び実績報告も検証し、地元住民による農地の保全管理を支援するなどして、耕作放棄地の発生防止につなげていきたいと考えています。

質問…「広域クリーンセンター

大田原」の基幹部分の改修及び発電機設置工事は44億円と多額、議会で十分議論すべきです。

答弁…那須地区広域行政事務組合正副管理者会議や、本市議会議員も構成議員となっている同組合議会による議論等を経て進

めてきたところであり、長寿命化総合計画を平成30年3月に策定し概算事業費を約44億円

と計画したところであります。

仕様書や事業費等につきまして、コンサルタント会社に工事発注支援業務を委託、技術評価

を行い、適正な内容であるとの結果になっております。工事期間

は、同組合の議会の議決の日から3日を経過する日から令和4年3月22日までとしております。6月25日入札を行い、7月中

旬に組合議会臨時会を開催す

る予定であります。

質問…地元自治会に対する説明会を開催すべきです。

答弁…6月28日開催します。質問…大田原市が主導権を発揮して移転推進チーム設置など、

具体化について伺います。答弁…今回の工事完了後に、那須地区広域行政事務組合にお

ける検討熟度を深めていくよう、那須町と努力してまいります。

高齢者等外出支援
事業について



問者席
印南 典子 議員

質問…ある方のお話を聞きました。高齢で人工透析を受けているお父様と暮らしていて、毎朝出社前に病院へ父親を送り、お昼休みに透析が終わった父親を自宅に送り、再び会社に戻る生活を3年以上送って、心身共に疲れ切っていたそうです。先頃介護認定を受けて、外出支援事業が利用できる様になり、息子さんの負担が無くなつてとても喜んでおります。今後も増える

透析患者やご家族の重い負担を軽減する為に、外出支援事業の利用者範囲を拡大して透析患者であれば外出支援事業が受けられる様に出来ないか伺います。
答弁…現在人工透析によって本事業を利用している方は18人。本市では人工透析患者数は平成26年度は142人、30年度は154人と増加しており支援強化は必要と考えていますが、現状の支援事業の利用状況等も精査

し見直しが必要かどうかを判断したい。
質問…社会貢献に参画したい市民や団体などの担い手づくりを始めてはどうか伺います。
答弁…議員からご提言ありました件、非常に示唆に富んだ内容がありますので、ニーズの把握と現状認識をして検討してまいります。

一般質問



秋山 幸子 議員

非核平和都市宣言
を掲げた本市の取
り組みについて

質問…市が主催する原爆写真展の進捗状況をお聞きます。
答弁…原爆写真展につきましては、本庁舎市民ギャラリー等において8月上旬に開催を予定しており、7月1日号市広報及び市ホームページで市民の皆様にご周知してまいります。
なお、掲示する写真につきましてはは広島平和記念資料館より広島、長崎原爆写真パネルを借

用し展示することで、広島、長崎の原爆被害の実相を示し、宣言文に込められた核兵器の廃絶と世界の恒久平和の願いを伝えていきたいと考えております。
質問…大田原市は2011年に平和首長会長に加盟し、ほかの市町とも連携し宣言文の重みを市民とともに共有するとしています。「非核平和都市宣言」の標語がいつも市民の目に触れる

場所に設置されるよう求めます。
答弁…以前は文化会館の前は懸垂幕が2本でしたが、今回は、文化会館のほうにも場所がありますし、なおかつ本庁舎のほうにも三角ポールで2本できますから、合計4本あれば、そのうちの1本は常時パネル展の期間中は張れるようになるかと考えております。

私学(中高一貫校)の誘致について



鈴木 央 議員

質問…全寮制を前提とした中高一貫校を念頭にお伺いします。県内でも私学の誘致に取り組んでいる市町も有ります。私学の誘致に対する本市のお考えをお伺いします。

答弁…中高一貫校は進学に関する選択の幅を広げ、生徒の個性や創造を伸ばす事を目的として平成11年度から選択的に導入された制度であり学力の定着や向

上を狙う学校の割合が高いとされております。こうした学校が市内に立地することにつきましては進学の選択肢が増えるほか、若者が増えることによる地域活性化等のメリットがあると思われれます。一方、誘致に関しては土地の提供や、金銭面の支援など大きな財政負担が生じる懸念が有ります。

質問…今回の主旨は大田原市がもっている素晴らしい教育環境を前面に打ち出し、誘致を検討して頂きたい。
答弁…情報化の飛躍的な発展の中、これからの二十一世紀、二十世紀の社会を望んだとき、どういふ学び方が必要か。大胆な発想、新たな発想を入れてこの私学の検討というのはある意味重要と考えます。

一般質問



中川 雅之 議員

交通安全対策について

質問…自治会や市民による交差点整備及び新たな信号機、時差式信号機の設置要望に対する市の取り組みについて伺います。

答弁…安全な交通環境の整備のため、本市では自治会等からの要望に基づきカーブミラーやガードレールなど交通安全施設を整備しているところであります。また、信号機などの交通規制については栃木県公安委員会が行

いますので、信号機等の設置要望を受けた際は、大田原警察署に要望を伝えております。過去3年間の要望件数と信号機の新規設置及び矢印等の改良の実績につきましては、平成28年度は要望箇所52件に対し設置件数は5件、平成29年度は要望箇所49件に対し設置件数は6件、平成30年度は要望箇所47件に対し新規設置が2件・信号機の改良が

8件の合計10件となっております。なお、栃木県内における信号機の新規設置につきましては、栃木県公安委員会に照会しましたところ、平成30年度は15基でありました。本市といたしましては、今後とも市民等からの要望を真摯に受け止め、引き続き交通安全に向けた環境の整備を行うため大田原警察署を介して要望活動を行ってまいります。

市議会では インターネットによる 生中継をしております

●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。



●大田原市ホームページ

<http://www.city.ohtawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先

大田原市議会事務局 ☎23-8714

請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版でお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

〈請願(陳情)書の書式例〉

《表紙》

〇〇〇に関する
請願 (陳情)

紹介議員名

(陳情は不要)



《内容》

1. 請願(陳情)の趣旨
2. 請願(陳情)の理由
令和〇年〇月〇日

請願(陳情)者

住所
氏名

大田原市議会議長あて



一般質問



小野寺 尚武 議員

全国の専門家から注目の「日本考古学発祥の地」の侍塚古墳の活用について

質問…侍塚古墳の今年度予定事業の進捗状況について伺う。

答弁…令和元年度から遺跡発掘調査を計画的に進めるため予算計上し、国補助金の交付を見込んでいます。緊急の確認調査と保存目的の確認調査の2つに分けられ、緊急の確認調査は周知の遺跡で開発行為が行われる場合、事前に部分的な発掘を緊急的に行い、遺跡の有無や範囲、

性格を明らかにし事業者との調整を行います。保存目的の確認調査は、遺跡を将来にわたって保存するために必要な資料を得るために行います。前者の調査は開発事業が生じ5月末までに実施したものが2件、現在調査中のものが1件です。後者の調査は、侍塚古墳や那須国造碑周辺を通過し古代の歴史を築く基盤となった古代官道東山道やそ

の往後に必要な人馬が置かれた馬屋跡、侍塚古墳を築造した人々の集落跡を見つけるための試し掘りや確認調査を予定し、具体的な発掘場所選定の最中です。

質問…埋蔵文化財をまちづくりはどう活用していくか伺う。

答弁…今後の出土品等の内容によつてはさらに観光的な誘客を図る材料として活用できる可能性も高まると見込まれます。

協議会及び委員会の内容

4月～6月

全員協議会

◆4月12日

(報告事項)

- 1 新たなふるさと納税ポータルサイトの採用(追加)について
- 2 平成30年度情報公開・個人情報開示の状況について
- 3 請願・陳情採択事件処理状況の報告について
- 4 「いのちを支える大田原市自殺対策計画」の策定について
- 5 「第3次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定について
- 6 「第5期大田原市障害者福祉計画」の策定について
- 7 大田原市生涯活躍のまち基本計画について

◆5月14日

(報告事項)

- 1 平成30年度大田原市一般会計補正予算第5号について
 - 2 「令和元年度大田原市の家計簿」について
 - 3 平成30年度市営バス全路線及びデマンド交通の年間利用者及び収入状況について
 - 4 大田原市森林環境譲与税基金の創設について
 - 5 大田原市ブロック塀等安全対策工事補助金の交付について
 - 6 白河市と大田原市との文化交流協定の締結について
 - 7 議会報告会の開催について
- (協議事項)
- 1 大田原グリーン・ツーリズム推進協議会会員の推薦について

◆6月21日

(報告事項)

- 1 大田原市「市の鳥」指定に伴う公募の実施について
 - 2 令和元年度市政懇談会の開催について
 - 3 防災重点ため池の選定と浸水想定区域図の公表について
 - 4 大田原市プレミアム付商品券事業の実施について
 - 5 「大田原市成人式」の名称変更について
 - 6 総務常任委員会行政視察の報告について
 - 7 民生常任委員会行政視察の報告について
 - 8 建設産業常任委員会行政視察の報告について
 - 9 文教常任委員会行政視察の報告について
- (協議事項)
- 1 大田原市議会情報公開条例施行規則の一部を改正する議会規則の制定並びに公布について
 - 2 大田原市未来創造戦略推進会議委員の推薦について
 - 3 暴力追放大田原市民会議評議員の推薦について



総務常任委員会

◆6月24日

- 1 付託議案の審査

民生常任委員会

◆6月24日

- 1 付託議案の審査

建設産業常任委員会

◆6月25日

- 1 付託議案の審査

議会運営委員会

◆4月12日

- 1 議場内執行部席の変更について
- 2 改元(令和)に伴う定例会・臨時会の称呼について
- 3 平成31年(2019)年度間の定例会日程(予定表)の配布について
- 4 平成31(2019)年度全員協議会(予定表)の配布について

◆6月7日

- 1 令和元年第3回市議会定例会の招集について

広報広聴委員会

◆4月5日

- 1 議会だより5月号(190号)について
- 2 議会報告会について

◆5月14日

- 1 議会報告会について

永年在職議員の表彰

全国市議会議長会より永年在職議員の表彰があり、第3回市議会定例会初日に表彰伝達式が行われました。

(15年表彰)

藤田 紀夫 議員

(15年表彰)

引地 達雄 議員

議会活性化特別委員会 委員長報告



議会活性化特別委員会の調査結果についてご報告申し上げます。

本特別委員会は、「議会改革について」、「議会活性化について」及び「議会基本条例の検証について」に関することを付議事件として調査研究を進めるため、平成28年3月定例会の本会議において設置されたものであり、議長から指名された委員8名で構成されました。

この度、調査が終了いたしましたので、その結果について会議規則第108条の規定によりご報告申し上げます。

初めに、特別委員会の開催経過についてであります。平成28年3月22日から平成31年3月20日までの間に委員会を17回開催いたしました。

付議事件のうち、まず「議会改革について」ご報告いたします。

全ての議員の共通認識度を図る必要性、及び公平かつ円滑な議会運営の必要性の両観点から、広範囲にわたる申し合わせ事項を「明文化」し、議会運営に欠かすことのできない基本的なルールを洗い出すことが望ましいとの見解に基づき、現状の整理を行い、全議員への周知徹底を図りました。

更に、本特別委員会では、令和元年11月に予定されている改選を見据えた改訂版の構築が必要との議論がなされ、来る18期の議員構成(議員定数及び常任委員会数の減)を想定した「大田原市議会申し合わせ事項(改訂版)」の調査研究を行い、初版をベースに議会基本条例の理念に沿った必要箇所の見直し作業を行いました。

次に、「議会活性化について」ご報告いたします。

本特別委員会では、新庁舎における議会フロアには、新たに様々なシステムが導入されると同時に、新しい構造上の観点から、移転前に様々な角度から議員の使用ルールづくりをすることが必要であり、本件を協議検討することが、議会活性化に繋がります。議会基本条例の議会の運営原則に基づく、公正性、公平性及び透明性の確保に繋がるものと判断し、協議検討することといたしました。

次に、「議会基本条例の検証について」ご報告いたします。

本特別委員会では、本条例が施行されてから3年が経過したため、その協議検討の必要性を認め、議会基本条例第29条(見直しの手続き)「議会は、常に市民の意見及び社会情勢の変化等を勘案し、この条例の目的が達成されているかについて、検証するものとする。」に基づき、本条例の達成状況及び今後の方向性等について協議検討することにいたしました。

検討の結果、市民の意見や社会情勢の変化等を問う前に、まず我々17期の議員各位が、議会運営の最高規範としての「議会基本条例」を、現時点でどのように考え、達成の認識度に関して、議員間での温度差はあるのか否か等を確認した上で、更なる協議を進めて行くことが先決ではないのか、との協議がなされました。

そこで、全議員から「評価アンケート」を聴取することとし、本特別委員会でまとめた評価書式に沿った全議員の現時点での達成度の見解と、自由意見を集約し、集計並びに検証結果をまとめることによって、今後(次期18期)に向けた議員として必要な改革活動の取り組みの方向付けと、本条例の改正を含む適切な措置(見直し等)に寄与する下地を作り、まとめ上げました。

最後に、大田原市民は、議会基本条例の制定により、今後の議会改革と更なる活性化に大きな期待を寄せています。

我々議員は、ますます複雑かつ高度化が進む自治体経営の一翼として、多種多様な民意を的確かつスピーディーに反映させ、政策立案や監視機能をより効果的に発揮していくことが求められています。

議員一人ひとりが不断の努力により、より一層の資質向上を努めるとともに、議会の総力を結集して地域民主主義の確立のための議会改革、議会活性化の歩みを進めることによって、市民に更に信頼される開かれた議会を目指していくことを約束いたしました。調査完了の報告といたします。

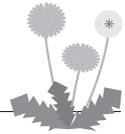
令和元年 6月27日

議会活性化特別委員会

委員長 君島 孝明



議会 会 日 誌



4月

- 5日○広報広聴委員会
- 11日○栃木県市議会議長会議
- 12日○全員協議会
- 議会運営委員会

5月

- 14日○全員協議会
- 広報広聴委員会
- 15日○文教常任委員会行政視察（富山県高岡市、富山市、滑川市17日まで）
- 17日○那須市町村議会議長会議総会
- 20日○総務常任委員会行政視察（埼玉県草加市、兵庫県伊丹市、西宮市22日まで）
- 21日○建設産業常任委員会行政視察（兵庫県神戸市、奈良県生駒市、大阪府大阪市23日まで）

6月

- 22日○民生常任委員会行政視察（京都府京都市、亀岡市、滋賀県守山市24日まで）
- 29日○関東市議会議長会定期総会
- 31日○県北5市議長会議

- 7日○議会運営委員会
- 11日○全国市議会議長会定期総会
- 17日○令和元年第3回市議会定例会招集（本会議）
- 19日○本会議（一般質問）
- 20日○本会議（一般質問）
- 21日○本会議（一般質問）
- 24日○総務常任委員会
- 民生常任委員会
- 25日○建設産業常任委員会
- 27日○議会運営委員会
- 全員協議会（臨時）
- 本会議（議決）
- 全員協議会（定例）



「市民5分間演説」を してみませんか

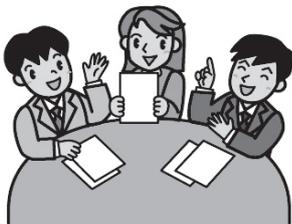
大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができる「市民5分間演説」を実施しております。

ぜひ議員の前で演説をしてみませんか。市民の皆様の参加をお待ちしております。詳細については議会事務局までお問い合わせください。

（演説申込について）

演説を希望される方は、土曜日、日曜日、祝日を除く定例会の各常任委員会開催日3日前の正午までに議会事務局に市民5分間演説申込書（様式第1号）を提出してください。

なお、演説に関する詳細については市議会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。



各常任委員会行政視察報告

5月の下旬に、総務、民生、建設産業、文教の4常任委員会が、それぞれ行政視察を行ってまいりました。各常任委員会の報告は以下のとおりです。

総務常任委員会

5月20日～22日(所管事項調査)

一 埼玉県草加市

「自転車の安全な利用に関する条例について」

条例を制定することにより、市・市民・自転車等利用者・保護者・高齢者家族、事業者・関係団体等それぞれの責務を明確にした上で、自転車交通安全教育の実施や自転車損害賠償責任保険等への加入促進を図り、交通事故件数の減少に繋げている。

二 兵庫県伊丹市

「災害サポート登録制度について」

災害発生時の初期対応には、地域の自助、共助による活動が被害軽減、早期復旧に欠かせないことから、協定制度よりも手続きが簡単な登録制度を設けることにより、小規模な事業所の保有する能力を災害対応に活かすことが可能となった。

初期対応や行政の対応能力

を超える分野での災害対応力の向上が期待できる。

三 兵庫県西宮市

「議会BCP及び

発災時の議会行動

マニュアルについて」

阪神・淡路大震災の経験を活かし作成した「災害発生時の対応要領」を東日本大震災の事例を踏まえ、より具体的に議会、議員及び議会事務局の役割と行動を想定し、要領を更に発展させ作成した、西宮市議会BCP(業務継続計画)は、議会の機能を回復するための行動や様々な災害を想定した行動について検討している。



埼玉県草加市役所にて

民生常任委員会

5月22日～24日(所管事項調査)

一 京都府京都市

「京エコロジーセンター

について」

本施設は、地球温暖化防止京都会議を記念して開設された環境学習や環境保全活動の輪を広げるための施設であり、市民に温暖化防止やごみ減量などの環境学習の場とプログラムを提供し、地域で環境保全活動を行う人材の育成に力を入れている。

二 京都府亀岡市

「かめおかプラスチック

ごみゼロ宣言について」

亀岡市は、平成24年に内陸部の自治体で初めて「海ごみサミット」を開催し、保津川から海ごみをなくす取り組みを発信してきた。平成30年12月13日に亀岡市と市議会が「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行った。

三 滋賀県守山市

「ほたる条例について」

守山市は、ほたるの発生地としては初めての国の天然記念物に指定された。「ほたるが飛び交うふるさと守山づくり」を目指した活動を展開し、平成11年に「ほたる条例」を制定し、ほたるの自生を促す保護活動を行っている。



京エコロジーセンターにて

建設産業常任委員会

5月21日～23日 (所管事項調査)

一 兵庫県神戸市

「神戸医療産業都市 事業について」

神戸市は、阪神・淡路大震災後の経済を立て直すため、平成10年10月に「市民生活の向上」、「神戸経済の活性化」、「国際社会への貢献」を目的として「神戸医療産業都市」の計画検討を開始し、先端医療技術の研究開発拠点を整備し、産学官連携により、21世紀の成長産業である医療関連企業の集積を推進している。

二 奈良県生駒市

「耕作放棄地発生防止・解消活動の取り組みについて」

生駒市では、農地面積約650ヘクタール中1110ヘクタール余りが遊休農地となっていて、その解消に向けて「遊休農地の活用」や「新規就農者支援」を目標に掲げて取り組みを進めた。



生駒市役所にて

栃木県大阪センターは、14年ぶりとなる関西圏の拠点として昨年7月30日に開所された。本センターの開所により、関西圏はもとより、西日本に対して「とちぎのいいもの」、「とちぎのいいとこ」、「とちぎのうまいもの」を売り込む体制が整えられた。現地に拠点があることで、顔の見える関係を築き、観光誘客や企業誘致を戦略的に進め、農産物などの県産品の販路開拓や関西圏等における本県の知名度の向上につなげていくことができると見込まれている。

三 大阪府大阪市

「栃木県大阪センター 事業について」

文教常任委員会

5月15日～17日 (所管事項調査)

一 富山県高岡市

「文化財保護について」

全国で5つしかない重要有形・無形民俗文化財の御車山。400年以上の歴史は、市民の誇りであり、技術者の育成や文化の継承にも力を入れている。2015年に総工費23億円を掛けて開館した御車山会館はその象徴となる施設である。現在において「ものづくりのまち高岡」を作り上げた根幹が、この御車山の文化財保護となる。

二 富山県富山市

「図書館と美術館の併設について」

市内中心市街地のシンボルであったデパートの跡地を再開発事業により、図書館、美術館、銀行という複合施設を2015年に開館。併設により市民の利便性向上・美術に触れる機会を増やす文化の向上が図られた。また市民だけではなく、市外、県外、海外からも誘客に成功し、来館数300万人を突破している。

三 富山県滑川市

「学力向上の取り組みについて」

学力調査において、全国上位に位置する富山県の中で、トップの滑川市。様々な取り組みの中で、「科学の時間」が特質である。地域の人や優良企業から講師を迎え、「出前講座」による授業。地形の学習には、実際に船に乗り、湾岸から街全体を眺望するなど地元の人や企業に協力を頂きながら、子どもたちの学力向上と合わせて、郷土愛を育む教育を行っている。



複合施設TOYAMAキラリにて

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法第199条の2において、公職の候補者等が選挙区内の方々に対して、お中元、お祭り等の寄付、新盆の供物等、従来から慣行として行われているようなものも寄付に該当し禁止されておりますので、市民の皆様のご理解をお願いいたします。

大田原市議会議員一同



令和元年 9月定例会 開催のお知らせ

会期(予定)

9月2日(月)~9月17日(火)



市議会HPは
こちらから



※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。

「只今から、大田原市議会定例会を開会いたします」菜の花畑にひばりの声ならぬ議場に議長の凛としたうぐいすの音が響き渡り一服の清涼感が広がって令和元年第3回大田原市議会が始まりました。

市議会傍聴は、今回で3回目となりますが、新議場での傍聴は初めてであり、施設設備とも素晴らしいものであって、全国に誇れるものと確信するとともに傍聴席は、満席に近い状況で市政に対する市民の皆さんの意識の高さをひしひしと感しました。

発言される議員さんには、市民生活に直接関わる事項についてとても良く詳細に調査研究されての発言であり日頃のご努力に深く感銘いたしました。また、市執行部の答弁に付きましても誠に丁寧に分かり易いものであり議会と行政は車の両輪とし



〈野崎・薄葉団地〉

相馬 博 さん



「素晴らしい議場に一言、傍聴者席からは執行部の面々は見えるのですが、議員さんの面々は見えにくい構造であり、我等が選良の議員さんの勇姿を後ろ姿だけでも拝見できないことは残念に思う次第でありました。

また、今、全国的に議会離れが危惧されておりますが、当市議会においては多くの傍聴者があることから、その心配はないかと思われませんが、更に日頃から議員活動の理解を深めるために機会あるごとに各議員さん自らの地元市民に傍聴促進活動を行ってはどうかと思いますが如何でしょうか。

ての市政発展のために努力されていることを心強く感じました。今後ともYES・BUTの手法を用いてより前向きで建設的な市政の推進を期待します。